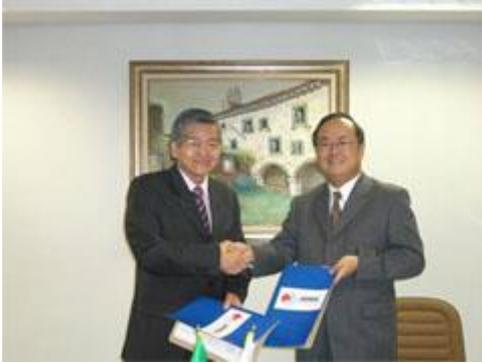


「サン・ジョゼ・ド・リオ・クラール市児童一時保護施設・機材購入計画」署名式



(左から) ワタナベ市長、西林総領事

2007年7月27日、当館において、当館とサン・ジョゼ・ド・リオ・クラール市との間で、草の根・人間の安全保障無償資金協力に対する贈与契約署名式が行われ、西林万寿夫総領事、同市のマサオ・パウロ・ワタナベ市長他関係者2名が出席しました。

署名式において、西林総領事は、「施設は保護施設床がひび割れ、壁が欠けている等の問題がある上、施設内の機材についても老朽化が目立っていると聞いており、今般の協力により入所児童達がより安全で快適な環境で生活が出来ることを期待している」と挨拶しました。



左から) サン・ジョゼ・ド・リオ・クラール市
および総領事館代表者

ワタナベ市長からは「子供たちを保護する施設を必要としない状況が理想だと思うが、親が子供の面倒を見れない場合、その責任は市が負わざるをえず、市はきちんとその責任を果たさなければならない。今回の協力についてサン・ジョゼ・ド・リオ・クラール市民、施設を利用する子供たちを代表して、総領事をはじめ日本国民に心から感謝したい」旨感謝の意が表された。

案件名：「サン・ジョゼ・ド・リオ・クラール市児童一時保護施設建設計画」

被供与団体：サン・ジョゼ・ド・リオ・クラール市

プロジェクト実施地：南マト・グロッソ州サン・ジョゼ・ド・リオ・クラール市

契約署名日：2007年7月27日

供与限度額：84,749米ドル

案件概要： サン・ジョゼ・ド・リオ・クラール市はマト・グロッソ州に所在する14,000人の町であり、12年前より市が司法判決を待つ

児童を 90 日間保護する児童一時保護施設を運営している。現在 0～17 歳の児童が 17 名の入所しているが、施設は 15 年前に建設されたものであり、床がひび割れ、壁が欠けている等の問題がある上、施設内の機材についても老朽化が目立っている。

この度の我が国の無償資金協力により、児童保護施設を建設することで児童たちがより安全で快適な環境で生活できるようになる。

供与品目：児童保護施設建設（男女別々寝室、台所、食堂、事務室等 - 213.60 平米）



現施設の外側